本当に大切なもの」を語りかける!



ウト。初めて行く古道具店の中
ている古い人形と目が合います。
を放ち一瞬にして、ユウトは鏡に
思議な妖怪たちの魅力に引き込
心。魂(心)を狙われているユウ
族の一員である鬼太郎が、なぜ
に何かが芽生え始めます。

©水木プロダクション

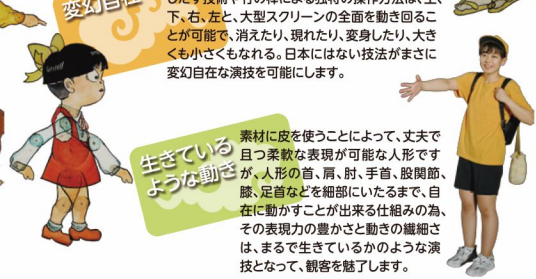
美しい色彩

皮影戯に使用される人形は、牛皮に、細かく彫刻し、多彩な色を施した芸術的で美しい人形です。この人形を使った影絵は、従来の黒い影ではなく、息をのむような美しい色のついたカラーの影絵になります。



変幻自在

スクリーンに直接照明の光を照射し、人形を透かしだす技術や竹の棒による独特の操作方法は、上、下、右、左と、大型スクリーンの全面を動き回ることが可能で、消えたり、現れたり、変身したり、大きくも小さくもなれる。日本にはない技法がまさに変幻自在な演技を可能にします。



生きているような動き

素材に皮を使うことによって、丈夫で且つ柔軟な表現が可能な人形ですが、人形の首、肩、肘、手首、股関節、膝、足首などを細部にいたるまで、自在に動かすことが出来る仕組みの為、その表現力の豊かさと動きの繊細さは、まるで生きているかのような演技となって、観客を魅了します。

制作にあたり

下駄の音とともにやってくる鬼太郎。日本じゅうの悪い妖怪たちから人間を守ってくれている。ただ本当に悪いのは、妖怪なのだろうか?妖怪とは何?答えの出ない事を考えさせてくれるのが、漫画「ゲゲゲの鬼太郎」の魅力でもあります。この影絵劇では、妖怪とは人間の心。妖怪の世界とは目には見えない人間の心世界。こどもたちに、それが身近にある世界であることを感じてもらい、やさしさやおそれ(畏怖)、妖怪たちが語りかける目には見えない"本当にたいせつなもの"を感じて頂ければと思います。もちろん、おなじみの妖怪キャラクターたちが、スクリーンせましと大活躍する楽しいお芝居です。妖怪影絵ワールドに、どうぞご期待ください。

●STAFF

原　　作:水木 しげる
協　　力:水木プロダクション
演　　出:劇団影法師演出部
脚　　本:さらだ たまこ
企画・制作:劇団影法師